

別紙（２）

研修のねらい

臨床工学部会研修会は、臨床工学技士が自治体病院における患者を中心としたチーム医療において、質の高い安心で安全な医療を提供するため「医療機器の安全管理」、「医療機器操作に伴う臨床技術の向上」などについて、知識、技術を習得しチーム医療の一翼を担うとともに効率的な病院運営に寄与することを目的として開催しております。

昨年度の研修会につきましては、例年どおり集合形式による３つの講演とグループワークを開催する予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から集合形式を中止とし、オンラインセミナーという形で開催いたしました。初めての試みではございましたがセミナーでは２名の講師をお迎えし「臨床工学部門におけるBCPの策定～目標志向で実践可能な計画をつくる～」ならびに「COVID-19への対応～臨床現場の実際と今後の対策～」という２つのテーマでご講演をいただきました。ご講演の内容については正にコロナ禍の状況に即したものであり、ご視聴いただいた皆様からは日常業務にとっても役立つ内容だったとのご意見をいただいております。

今年度の研修会につきましても昨年度と同様にオンラインセミナーでの開催となりますが、春季と秋季の２回に分けて別の内容で開催いたします。春季については、日本透析医会新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ委員長の菊地 勘先生ならびに東京女子医科大学東医療センター臨床工学部の近藤敦子先生の２名の先生より、最新の情報を踏まえた透析施設における感染対策、実際の臨床現場の状況等についてご講演をいただきます。

秋季については国立大学法人佐賀大学理工学部情報部門教授である花田 英輔先生に医療機関における安全で安心な電波利用に関してご講演をいただく予定です。

いずれのご講演も今後の臨床工学技士業務に資する内容となっております。

ご多忙中のところ大変恐縮ではございますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。